

- 問1

16世紀半ば、種子島にポルトガル人を乗せた船が漂着し、日本に新しい兵器が伝えられた出来事について、その後の歴史に与えた影響として最も適切な説明はどれですか。(2020年 京都府公立入試 類似)

1. この兵器は元軍が日本に襲来した際に初めて伝えられたもので、鎌倉幕府が滅亡する直接の原因となった。

2. この兵器は朱印船貿易が最も盛んだった江戸時代初期に初めて日本にもたらされ、幕府の軍事力を支えた。

3. 1543年に伝えられたこの兵器は、集団戦法への転換を促し、防御力の高い城郭の構造などにも大きな影響を与えた。

4. この兵器の伝来により、騎馬武者が名乗りを上げて一対一で戦う伝統的な戦術がより一層重視されるようになった。
- 問2

1543年に九州南部の種子島にポルトガル人が漂着した際、日本に初めて伝えられた武器について、その後の歴史に与えた影響として正しいものはどれか。(2016年 群馬県公立入試 類似)

1. 鎌倉時代にモンゴル帝国が襲来した際、日本の武士が防衛のためにこの武器を組織的に使用して撃退した。

2. この武器の輸入を目的として、室町幕府の足利義満によって明との間で勘合貿易が開始された。

3. 戦いが騎馬による一騎打ちから、足軽による集団戦へと変化した。城の構造も堅固な石垣を持つものへと変化した。

4. この武器の伝来をきっかけに、日本独自の武術である剣術や弓術が廃れ、すべての合戦がこの武器のみで行われるようになった。
- 問3

1543年、九州の南側に位置する種子島にポルトガル人が漂着した際、日本に初めて伝えられた武器について述べた文として、正しいものはどれですか。(2017年 神奈川県公立入試 類似)

1. この武器は鉄砲と呼ばれ、その後の戦国時代の戦い方を集団戦へと大きく変化した。

2. この武器は弓矢と呼ばれ、従来の騎馬武者による一騎打ちをより重視させるようになった。

3. この武器は高度な技術が必要だったため国内での製造ができず、終始輸入に頼っていた。

4. この武器の伝来と同時にフランシスコ・ザビエルによってキリスト教が日本に広められた。
- 問4

越前国の戦国大名である朝倉氏が、拠点である一乗谷を中心とした領国支配を強めるために実施した政策の説明として、最も適切なものはどれですか。(2024年 滋賀県公立入試 類似)

1. 一乗谷を商業専用の都市とし、家臣が居住することを厳しく制限した。

2. 家臣を一乗谷に集住させ、領内に勝手に城を築くことを禁止した。

3. 家臣をそれぞれの所領に住ませ、各地に防御のための城を自由に築かせた。

4. 室町幕府の法令のみを遵守させ、独自の法による支配を一切行わなかった。
- 問5

戦国大名の武田氏にゆかりのある、現在の山梨県に位置する武田神社付近には、かつて大名の館を中心とした町が形成されていました。このように大名が家臣や商工業者を集めて町を作った主な目的として、最も適切な説明はどれですか。(2016年 千葉県公立入試 類似)

1. 海外との貿易を独占するために、海岸線に面した土地に防衛拠点を築くため

2. 有力な寺社への参拝客を増やすことで、宗教的な権威を利用して領民を支配するため

3. 交通の要所に休憩所を設けることで、旅人の利便性を高め、通行税を徴収するため

4. 家臣を一定の場所に集めて統制し、商工業を振興して領国の経済と軍事を支えるため
- 問6

戦国大名の朝倉氏が定めた「城郭の構築に制限を設ける規定」や、伊達氏が定めた「年貢を納めない農民への処罰に関する規定」など、当時の大名が独自に定めた法典が持っていた共通の目的として、最も適切なものはどれか。(2024年 奈良県公立入試 類似)

1. 領国内の秩序を安定させ、軍事・経済の両面から支配体制を強化すること

2. 室町幕府の将軍から授かった権限を、領民に広く知らしめること

3. 土地をすべて公有とし、農民に平等に配分して税収を安定させること

4. すべての裁判を天皇や公家が行うという原則を確立すること
- 問7

戦国時代、室町幕府の支配力が弱まる中で、各地の戦国大名が自らの領国内の家臣や領民を統制するために独自に定めた法律を何と呼びますか。(2020年 佐賀県公立入試 類似)

1. 分国法（家法）

2. 御成敗式目

3. 公事方御定書

4. 武家諸法度
- 問8

戦国大名が「分国法」を制定した主な目的として、当時の社会情勢を踏まえた説明として最も適切なものはどれか。(2017年 茨城県公立入試 類似)

1. 自らの領国における家臣同士の私的な争いを禁じ、大名による統治を強化するため。

2. 開墾した土地を永久に私有することとを認め、農業生産力を高めるため。

3. 朝廷の権威を借りて、隣接する他の領国を経済的に圧迫するため。

4. 鉄砲の伝来に伴い、全国共通の武器使用ルールを室町幕府が定めるため。
- 問9

戦国時代において、各地の戦国大名が自らの領国（分国）内の武士や民衆を統制し、領国内の秩序を維持するために独自に制定した法律を何といいますか。(2024年 千葉県公立入試 類似)

1. 公事方御定書

2. 分国法

3. 御成敗式目

4. 武家諸法度
- 問10

1549年にフランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸して日本に伝えたキリスト教について、その宗派と布教を担った組織の組み合わせとして正しいものはどれですか。(2017年 徳島県公立入試 類似)

1. プロテスタントー清教徒（ピューリタン）

2. カトリックーイエズス会

3. プロテスタントーイエズス会

4. カトリックー十字軍
- 問11

戦国大名の武田信玄が制定した「甲州法度之次第」のように、当時の有力な大名たちが独自の法律を定めた主な目的として、最も適切なものはどれですか。(2024年 千葉県公立入試 類似)

1. 室町幕府の命令を全国の農民に守らせ、将軍の権威を強めるため

2. キリスト教の布教を制限し、外国との貿易を大名が独占するため

3. 家臣同士の争いを抑え、民衆を含めた領民全体を統制して領国を安定させるため

4. 朝廷から与えられた官位の順序に従って、家臣の序列を整理するため
- 問12

戦国大名は、自らの居城の周辺に家臣や商工業者を強制的に呼び寄せて住ませ、領国支配の拠点となる町を築きました。このような町の形態を何と呼びますか。(2016年 千葉県公立入試 類似)

1. 宿場町

2. 門前町

3. 港町

4. 城下町
- 問13

戦国大名の一人である朝倉氏が定めた「朝倉敏景卿四十七ヶ条」という資料には、家臣が自らの居城以外に城を築くことを禁止する内容などが記されています。このような規定を設けることで、戦国大名が実現しようとしたこととして最も適切な説明を選びなさい。(2026年 大阪府公立入試 類似)

1. 朝廷の許可を得ることで、他の大名に対して官位の優位性を示すこと

2. 室町幕府の権威を背景に、近隣の守護大名との同盟を維持すること

3. 家臣が独自の軍事力を持つことを抑え、大名による領国支配を強化すること

4. キリスト教の布教を制限することで、領民の思想的な結束を図ること